

読み聞かせで伝える

六年生 新聞

八月二日(土)、府中公民館の小ホールで、府中北小学校の六年生十一名が「さだ子の願い」という紙芝居の読み聞かせをしました。一学期に平和資料館に行つて学んだことやいろいろな人から話を聞いて感じたことを伝えたいという気持ちで読んでいました。聞いてくださった方からは、「子どもの発表を聞いて、改めて考え直す、学び直すきっかけをもらった。」「当たり前の日常を私たちも大切にしなければいけないと思った。」という感想をいただきました。

また、府中公民館で総合的な学習の時間に子どもたちが作成した新聞を八月一日から三十一日まで掲示していただきました。読み聞かせを終えた子どもたちは、来てくださった方に、自分の新聞の説明をすることもできました。

発行者

6年生担任



八月六日(水)には、平和記念公園で六年生の希望者が読み聞かせを行いました。八十年前に原爆が投下された日であり、多くの方が平和記念公園を訪れているため、六年生の読み聞かせをたくさんの人に聞いていただくことができました。初めは緊張もありましたが、平和に向けて自分たちにできることをしたいという思いをもち、大きな声で気持ちを込めて堂々と読んでいました。